

合併の利点をのばそう

松本伝三(西野々)

思い出はみんな持っていると思
います。
私たちの大森も昭和三十一年に
日章、三和、十市、稲生とともに
香長村となりました。

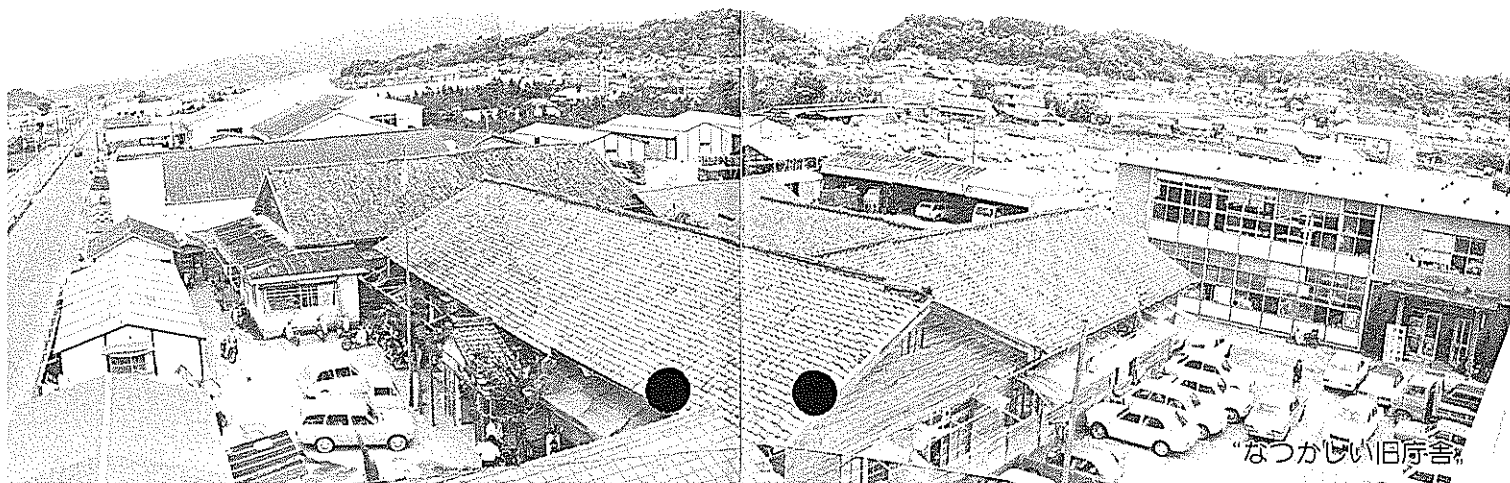
当時、合併したらどうなるの
だろうが、村が大きくなれば当局
との親近感がなくなるのではない
か、肌のない者同志が一語にな
って円満な運営ができるだろう
かなどの不安は村民一様にだっ

いました。時代は要請は更に大
同合併へと進展し、三十四年の南
国市誕生となりました。

三十四年といえは皇太子様と正
田美智子さんの御成婚の年、九月
には伊勢湾台風の襲来をうけたが
豊作で米価は一万三千三百円、
物価は何倍にもなっているものの
米は五・六十割しか上っていない。
合併に対する懸念は香長村の時
も南国市の時も同様であったが、

年 に 思 う

市 制 20 周



市制施行二十周年に寄せて

島村辰彦(大浦)

九月二十八日、市制施行二十周
年の祝賀行事が盛大に挙行政され、
市政に貢献のあった個人や団体の
表彰など意義深い祝賀の式典にア
トラクションで盛り上がりをつつ
け、実にみごとな演出であった。

内容については、なお一層の行政
配慮がほしいと思うような事から
もあつたように感ぜられるが、し
かし市制二十年の節目を飾る行事
であり、二十年を振り返り走馬燈

のようにいろいろの出来事や市政
の歩みなどが思い起こされ、感慨
深い祭典であった。

昭和三十六年発足した南国市美
術展覧会は、上長美術振興会の方
方が美術の普及と芸術文化の高揚
を目標として精力的な活動から始
まり、実行委員会員手弁当で働き
資材を持ち寄り、後免野田小学校
に作品を展示、第一回美術展覧会
を開催、以来市展として二回、三

二十年は夢の間に過ぎました。

行政区域の拡大は、たしかに時
の要請ではあるが、必ずしも利点
のみではなく、短所や不満な面も
常に隣りあつて今日に至っている。
しかし、今は利点を伸ばす事の
みを考えよう。即ち、合併のメリ
ットを求めて前向きにいく。

小さい村では出来にくく、出来
ても実効のあがらないことを、広
域性を活用して、うまくやること
を追求すべきだ。広域でやるが故
に実効もあがり、庶民の福利につ
ながっていくことはドンドン伸ば
していくことが必要だと思ひます。

今回の記念事業の一つである図
書館開設など大変期待がもてます。
南国市の特色を生かした充実し
たものにしていただきたいもので
す。何事にも金がかかるが、こん
なことは予算も多すぎこんで
もらいたい。その他文化面でも、
高知市が実施している夏季大学に
見合うような、市独自の農閑期利

忘れられない思い出

清岡照子(立田)

月日のたつのは矢の如しのこと
ば通りで南国市発足後、はや二十
年が流れ去りました。市役所に関
して強い思い出を一つ持っていま
すのでお届けします。

合併間もない、ある雨の日のこ

用などを配慮しての「市民大学」
を開いてはどうでしょうか。

現在おこなっている事業のなか
でもその効果の大小、受益者の多
少などをよく検討し、予算の効果
的執行に心がけられたい。

我田引水論ではないが現在やっ
ている高齢者学級などは、予算小
の効果大の筆頭ではなからうか。

どこの教室も出席が非常によく、
中央教室は毎回百五十人を下回る
ことはなく、大変効果をあげてい
ます。老人生涯教育の場として、
老人の生涯を求める唯一の場と
して、広域での友達つきあいを楽
しみなから大勢集まっています。

市の事業のなかでもこの「老人
学級」ほど効果のあがつているも
のはあるだろうかと思ひます。
この老人福祉と社会教育とを兼
ねあわせた効率的な事業にもつ
と多くの予算を出していただきたい
と願うのは大部分の学級生の希
望です。

とでした。私は両眼が少々不自由
ですので、市役所前まで行ったも
のの入口がなかなかわかりません。
途方にくれていると一台の自動
車がとまって男の人が近づいて、
「どんなご利用ですか」と言葉をか

回と苦しい時期を過ごしようやく
南国市美術展覧会として定着。い
ろいろの思い出を残して発展。現
在では県展に次ぐ美術展にまで成
長し、数多くの芸術家を育てつつ
前進。南国市政のなかに大きく君
臨していることは本場に喜ばしい
ことである。

舞台部門については、四十年頃
より謡曲、尺八、舞踊など中央公
民館において教室を開講していま
したが、四十六年より詩吟教室が
開講され受講者三十六人の盛況で
あった。当時公民館教室の合同発
表会として第一回を四十七年五月
に四部門で開催。第二回を四十八
年に五部門で公民館行事として、
老人クラブの方々を招待しお茶菓
子などを用意して大森公民館にて
合同発表会を開催。たいへん好評
を得ました。その間、各地区の敬
老会に出演、施設の慰問など幅広
い活動を続けてきました。

一歩進んで、地区公民館やそれ
ぞれの地区で一般市民が日常文化
活動を行っている多くの部門を結
集し、文化祭として発表会を行
いたいと念願し、行政にも話しかけ
ましたがあまり乗っけてくれな
かったものの、各方面に働きかけ
て準備活動が続けていました。

四十八年十一月、文化人である
杉本市長誕生とともに本格的な活
動にはいり、当時太田田社会教育

課長の積極的な支援を得て、四十
九年九月に南国市文化推進協議会
を結成することができた。第一回
目の文化祭の展示部門は、俳句、
短歌、書道、絵画、写真、生花、
茶道の七部門、舞台部門ではコー
ラス、大正琴、日本舞踊、詩吟、
剣詩舞、箏曲、着物着付などで四
十九年十一月二十四日より十二
月一日までの八日間、文字通り公民
館一丸となつて企画運営にあた
り市民の心の祭典として、第一回
の文化祭を華々しく開催すること
ができました。

文化祭の行事は常連の人たちの
みの発表でなく公民館学習の成果
であり、一般市民の日常文化活動
の発表の場として大きな意義があ
ると思ひます。

五十年、五十一年と市行政から
も見はなされた苦しい時代もあり
ましたが、会員一同の熱意と努力
により、また多くの市民有志の方
々のご支援を得て年々発展して参
りました。そして本年は、二十二
部門七百余名の会員参加で第六回
文化祭開催の運びとなりました。

その間、五十年より広域文化交
流共演大として四市町または六
市町の交流を行い、芸術性の昂揚
と大衆化を図り広域交流によるお
互いの理解を深め、交友親睦と明
るい社会生活の推進を目的として
舞台部門の交流をつづけています

けて下さいました。用件を申しあ
げると「僕がおつれします」と手
を引いて目的の係までつれて行っ
て下さり、係の方に「この方は眼
が不自由なので、ていねいに聞い
て書類に書き入れてあげなさい」と
いわれ、私には「どうぞ腰をか
けて待つて下さい」と心から親切
に言つて下さいました。私にはこ
の出来事が非常に嬉しく、二十年
の年月忘れた事はありません。

南国市役所にこのような上司が
居られる以上、親切な正しい職員
のみさんの市政が続くものと信
じます。多くの言葉よりもこの
親切が人の心に残るものです。
職員のみなさんのご多幸と南国
市の繁栄をお祈りします。

20周年に思う

西村富恵(浜改田)

三十四年南国市の発足以来、は
や二十年たちました。種々の苦し
さにも市長をはじめとする執行部
また市民の協力でこまできました。
南国市は香長平野をはじめと
する広い優良な農地を有し、益々
発展する可能性が高いと思ひます。
万歳を唱へ、南国市の益々の発
展をお祈りいたします。

県芸術祭執行委員会からも、大き
な期待と実績を高く評価されてい
る行事でもあります。

市展や文化祭など市市における
文化行事は、他の市町村のように
行政サイドではなく、文化を愛す
る多くの市民の自主的な要望から
出発したものであり、文化に対す
る市民の理解の深さがうかがわれ
ます。

現在の市市における文化行事
は、公民館または体育館で行われ
ているが、採光や音楽効果は美に
悪く、文化庁などの巡迴芸術など
市民の方々にぜひ観覧していただ
きたいと願うような高度な芸術公
演は、今の施設ではとうてい受入
れる事ができない現状であり、実
にお寒いばかりであります。

二十周年を節目としてさらに大
きく伸展し、飛躍して行くであろ
う南国市を祝福すると共に、市制
二十周年を契機として「文化財と
自然を保護し、新しい文化の香
り高い歴史のまちを築きましよ
う」と市民憲章にうたわれている
この一節を大きく生かし、南国市
民が多年の願望であり宿望でもあ
る「文化会館」の建設を文化施設
事業として真剣に考えてもらいた
いと切望するものであります。

(市文化推進協議会会長)